

株主の皆さまへ

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

北海道ガス株式会社

証券コード：9534

Top Message

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

エネルギーの自由化に加え、脱炭素社会に向けた動きの本格化や新型コロナウイルス感染症の影響など、事業環境は大きく変化しております。

こうした中、当社グループは、天然ガスの普及拡大と省エネルギーの推進、分散型電源の普及促進と再生可能エネルギーの導入等に積極的に取り組むとともに、デジタル化による事業構造改革にも着手し、総合エネルギーサービス事業の強固な事業基盤の構築を進めています。

今後ともお客さまの安全・安心とエネルギーの安定供給に万全を期すとともに、地域課題を解決し、地域社会とともに成長する企業グループを目指してまいります。



代表取締役社長 大槻 博

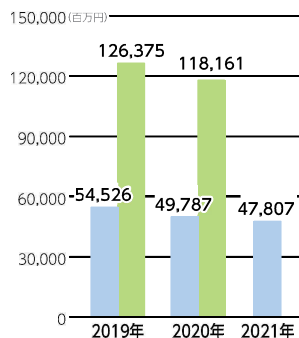
連結決算ハイライト

Highlight

●売上高

47,807 百万円

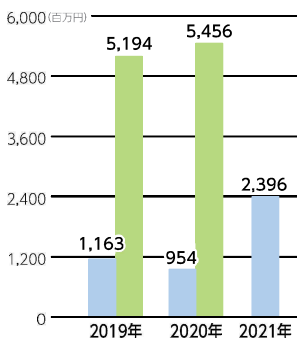
前年同期比 4.0%減



●経常利益

2,396 百万円

前年同期比 151.2%増

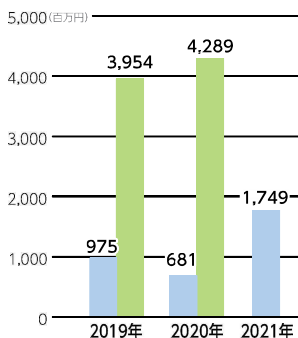


経常利益は連結財務諸表の開示義務化（1999年度）以降、過去最高となりました。

●親会社株主に帰属する純利益

1,749 百万円

前年同期比 156.8%増



上半期業績のポイント

当第2四半期の連結決算は2期連続の減収、2期ぶりの増益となりました。

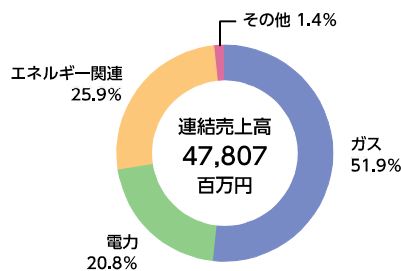
【売上高】ガス販売量は増加したものの、原料費調整制度によるガスの販売単価の低下により、前年同期に比べ4.0%の減収となりました。

【経常利益】ガス販売量および家庭用電力販売量の増加により、前年同期に比べ151.2%の増益となりました。

業績ハイライト

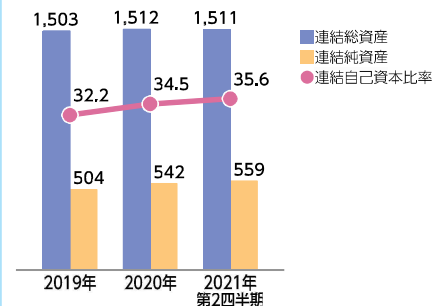
Highlight

●セグメント別売上高構成比



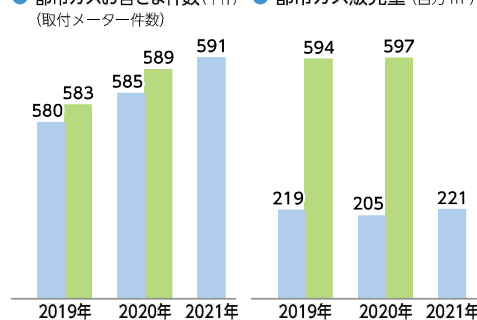
電力事業が連結売上高の20%を超えており、当社事業の柱の一つに成長しています。

●連結総資産／連結純資産（億円） 連結自己資本比率（%）



有利子負債の圧縮が進むとともに、利益剰余金が増加し、自己資本比率が上昇しています。

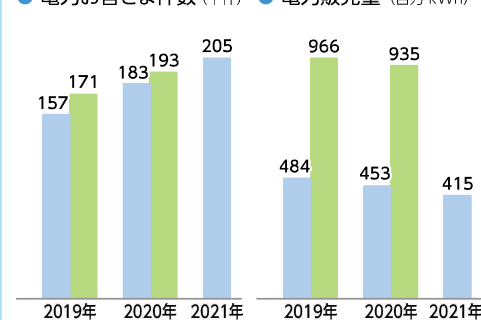
●都市ガスお客さま件数（千件） ●都市ガス販売量（百万 m³） （取付メーター件数）



【お客さま件数】
新築戸建を中心に家庭用のお客さまを獲得し、前年度末に比べ1,475件増加しました。

【販売量】
お客さま件数の増加に加え、夏場の高気温による業務用空調の稼働率向上や、新型コロナ影響を大きく受けた業務用ガス販売量の一部持ち直しにより、前年同期に比べ8.0%増加しました。

●電力お客さま件数（千件） ●電力販売量（百万 kWh）

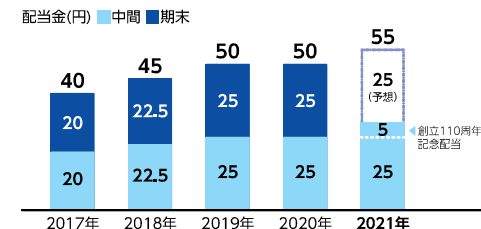


【お客さま件数】
家庭用のお客さまの獲得が順調に進み、20万件を超えました。

【販売量】
家庭用が増加したものの、需要構成の見直し等による高圧の減少に加え、電力市場への卸売が減少し、前年同期に比べ8.4%減少しました。

中間配当について

中間配当については、10月29日開催の取締役会において、1株につき25円に創立110周年による記念配当5円を加えた、1株につき30円とすることを決定しました。



※当社は2018年10月1日付で、当社普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っており、上記の各年度における配当は、当該株式併合後に換算しております。

プライム市場の選択について

当社は、10月29日開催の取締役会において、株式会社東京証券取引所が2022年4月4日に再編する新市場区分の「プライム市場」を選択および申請することを決定しました。

詳細な決算内容は こちら [北海道ガス IRライブラリ](#)

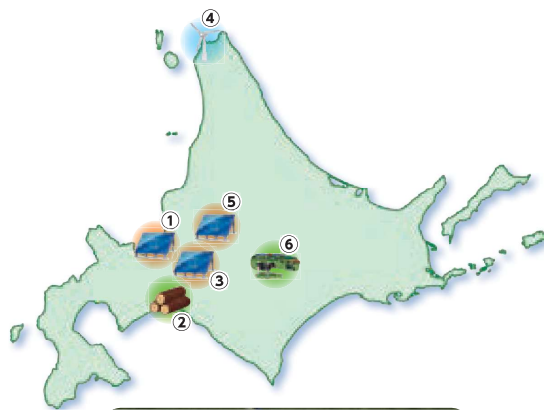
検索



持続可能な社会の実現に向けた取り組み

当社グループは、北海道における脱炭素化を見据え、北海道に豊富に賦存する再生可能エネルギーの導入拡大やCO₂削減に向けた新たな挑戦を始めています。

再生可能エネルギーの導入拡大



① ソラーファーム石狩



④ 稚内風力発電所



② 苫小牧バイオマス発電所

再生可能エネルギー施設	所在地	発電出力 (kW)	稼働・取得年月
① ソラーファーム石狩	石狩市	1,000	2013年10月
② 苫小牧バイオマス発電所	苫小牧市	6,194	2017年4月
③ 栗山太陽光発電所	栗山町	499	2021年6月
④ 稚内風力発電所	稚内市	2,300	2021年10月
⑤ 芦別太陽光発電所	芦別市	500	2021年11月

左記の再生可能エネルギーの年間総発電量は、北ガスの電気をご利用のお客さま（一般家庭）**約15,000世帯分**の年間使用量に相当



⑥ 畜産バイオガス発電所

牛のふん尿を活用

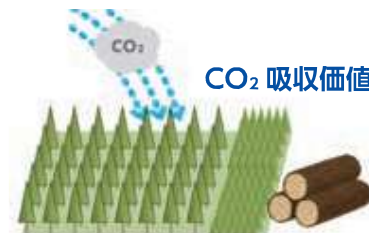
<エネルギー地産地消の推進>

酪農・畜産が盛んな上士幌町では、牛のふん尿を活用して電気をつくる「畜産バイオガス発電」により地産地消のエネルギー活用が進んでおり、当社はつくられた電気を地域内に供給する需給管理をサポートしています。

当社は、上士幌町におけるエネルギー地産地消のまちづくりに向け、2017年9月に5者による連携協定を締結しました。
【連携協定締結5者】
・上士幌町・上士幌町農業協同組合・株式会社上士幌町資源循環センター
・有限会社ドリームビル・北海道ガス株式会社

森林取得によるCO₂削減と地域資源の活用

南富良野町の森林を取得し、森林から得られるCO₂吸収量を「J-クレジット*」として認証を受け、将来のカーボンニュートラルに向けた当社グループの総合エネルギーサービス事業に活用していきます。

CO₂ 吸収価値

カーボンニュートラルに向けた総合エネルギーサービス事業に活用

森林の一部保有による自然環境保全への貢献と地域資源としての活用

*J-クレジット：再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度

地域連携の推進



左：南富良野町 池部町長、
右：当社 大槻代表取締役社長

当社は、持続可能な社会の実現に向けて、地方自治体との連携を一層強化し、地域資源の活用によるエネルギーの地産地消に向けた取り組みを全道各地で進めています。

6月11日には、南富良野町と連携協定を締結し、当社が南富良野町内の森林を一部保有することによる自然環境の維持・保護や、間伐材の町内利用の他、道の駅を中心とした公共施設の災害強靱性の向上など、地域の活性化と安全・安心に暮らせるまちづくりの実現に向けた取り組みを進めています。

北海道初となるカーボンニュートラルLNGの導入

3月19日に、北海道で初となるカーボンニュートラルLNGを導入しました。カーボンニュートラルLNGとは、天然ガスの採掘から最終消費に至るまでの工程で発生するCO₂を、森林の再生支援などによるCO₂削減で相殺したLNG（液化天然ガス）です。



3月19日に導入したカーボンニュートラルLNGは、当社の年間のLNG取扱量の10%に相当

北ガスのガスを
ご利用のお客さま（一般家庭）
約21万件分の
年間CO₂排出量*に相当

*北ガスの都市ガスCO₂排出係数及び2019年度販売実績より算出

石狩LNG基地 LNG船受入累計100隻



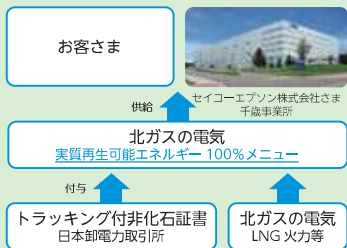
LNG 船「ENERGY UNIVERSE」

5月4日に、LNG船「ENERGY UNIVERSE」がサハリンより入港し、石狩LNG基地におけるLNG船の受入が累計100隻*となりました。

2012年11月に、北海道唯一のLNG輸入基地「石狩LNG基地」の操業を開始し、道内全域での天然ガス需要に対応してまいりました。また、LNGの年間受入量は、石狩LNG基地の操業初年度の17万トンから2020年度には67万トンまで拡大しました。今後も、北海道における重要なエネルギー供給拠点の役割を果たしてまいります。

*当社事業における調達分

当社初の再生可能エネルギーメニューの提供



当社は、セイコーエプソン株式会社さまの道内2拠点に対し、当社初となる実質再生可能エネルギー100%の電力の供給を11月1日より開始しました。

本メニューは化石燃料由来の電力ではないことを示す産地証明（トラッキング）付きの非化石証書を活用しています。

当社は、お客さまの脱炭素へのニーズにお応えするため、今後も再生可能エネルギーを積極的に活用していきます。

北ガス硬式野球部 REPORT

社会人野球日本選手権大会 都市対抗野球大会 ともに初の全国大会進出!

社会人野球日本選手権大会 創部4年目にして念願の全国大会に出場しました!!

6月に行われた社会人野球日本選手権大会の北海道地区予選で初優勝し、6月30日に初めて臨んだ全国大会は東邦ガスとの対決となりました。緊迫した投手戦となり、1点を先制された後の6回にホームランで同点に追いつくも、8回に勝ち越され、1対2で惜しくも敗戦となりました。



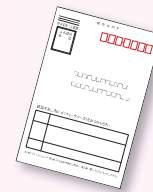
① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

都市対抗野球大会 日本選手権に続き、初の全国大会へ!!

9月18日～20日に行われた都市対抗野球大会北海道地区2次予選に出場しました。2連勝で迎えた北海道代表決定戦の日本製鉄室蘭シャークス戦では、延長13回タイブレークの末、サヨナラ安打で4時間半の激闘を制し、都市対抗初の全国大会出場を決めました。（11月28日より東京ドームで開催）

株主さまアンケートご協力をお願い

今後の株主さま向けのサービスや情報提供などの参考とさせていただくため、アンケートにご協力をお願いいたします。



2021年12月31日(金)

必着

同封の「アンケートハガキ」にご記入のうえ、ご返送ください。

株式情報

株式の状況 (2021年9月30日現在)

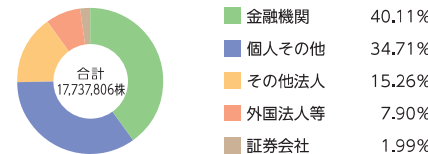
発行可能株式総数	32,000,000株
発行済株式総数	17,737,806株 (自己株式を含む)
株主数	7,525名

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,311	7.44
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,016	5.77
東京瓦斯株式会社	854	4.85
日本生命保険相互会社	766	4.35
株式会社北海道銀行	685	3.89
株式会社北洋銀行	685	3.89
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	525	2.98
北海道瓦斯従業員持株会	509	2.89
北海道信用農業協同組合連合会	495	2.81
札幌市	448	2.54

(注) 1. 株主名および持株数は、株主名簿に基づき記載しております。
2. 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式(127,243株)を控除して計算しております。

所有者別株式数構成比



※本報告書に記載の数値に表示単位未満の端数がある場合、原則としてこれを切り捨てております。

株主優待制度について

対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載または記録された1単元(100株)以上を保有されている株主さま

送付時期

毎年6月初旬の招集ご通知送付時に、「おこめ券」または「商品カタログ」を同封

優待品の内容

保有株数	株主優待品
100株以上200株未満	おこめ券(1kg相当)×1枚
200株以上1,000株未満	おこめ券(1kg相当)×2枚
1,000株以上	北海道特産・名産品(3,000円相当)

株主優待品の例



※商品は変更となる場合があります。



この冊子は環境保全のため、植物油インキとFSC®認証紙を使用しています。
見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。